



市
会
無所属
元市会議員が推薦

阿倍野を守る!

中田 かずのり

カジノではなく、『夢洲ラリーパーク』へ! #ストップ夢洲カジノ



2025年の大阪・関西万博後の夢洲をどうするのか？
カジノを含むIR(統合型リゾート)を建設するのか？
私は反対です。夢洲はもともとゴミの集積地。土壌汚染の問題があり、土地改良費に約800億円がかかると言われています。その次には、地盤沈下の問題がやってくるでしょう。永続的な建物などは望めないと思います。

では、どうするのか？**2段階**で考えています。
まず、樹木を植えていき森林をつくり、**緑地公園**をめざします。海側に森林ができることで、都心部のヒートアイランド現象の抑制につながるでしょう。

そして、この地形を活かして最終的に『**夢洲ラリーパーク**』とします。2022年に愛知県と岐阜県で行われた世界ラリー選手権 2022 日本。ラリー選手権ができるような、モータースポーツのコースをつくることで、夢洲には新たな価値が生まれてきます。

経済活性化、生活の安定を。『大学・企業の誘致』

大阪市や阿倍野区に住みたい、住み続けたいと思ってもらうためには、安定した経済基盤が必要です。帝国データバンク大阪支社の調べによると、2021年に大阪府へ転入した企業は153社、転出した企業は213社。1982年以降40年連続の転出超過となっているとのことです。

企業の育成、転出の抑制、企業誘致が課題であり、早急に解決しなければなりません。

阿倍野区には大阪キリスト教短期大学があり、2020年には桃山学院大学ビジネスデザイン学部が移転してきました。2025年には藍野大学短期大学部が、同法人明浄学院高校キャンパス内へ移転を構想中です。教育機関と地域の連携や、起業段階のスタートアップ企業を積極的に誘致し、阿倍野で育てる事業を行っていき、**若い世代の活力**を生み出します。**住んでよし、働いてよし、学んでよしの阿倍野区**をめざしていきます。

